



あいびす

1月1日
2022(令和4年)
JANUARY

54号



筑波山



Contents

- | | | | |
|-------|--------------------|----|--|
| 02 | 年頭のあいさつ
会長 埴 宏之 | 07 | 水戸市とIBIS会員企業による
ワークショップ
先進技術セミナー |
| 03 | 茨城県産業戦略部長 前田 了 | 08 | 総務関連セミナー
第33回親睦ゴルフ大会 |
| 04・05 | 各委員会より | 09 | 新入会員の紹介 |
| 06 | フォローアップセミナー | 10 | 異動情報 |

次の25年へ大きく飛躍する年に

(一社)茨城県情報サービス産業協会 会長 埜 宏之



新年あけましておめでとうございます。

日頃から協会の運営につきまして格別のご理解、ご協力を賜り誠にありがとうございます。

今年も協会発展のため努力して参りますので、ご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

また、今年度は当協会が平成8年7月に発足してから、おかげさまで25周年を迎えました。これもひとえに、会員企業の皆様、諸先輩方、茨城県はじめ関係者の皆様のおかげです、厚く御礼申し上げます。

さて、昨年9月30日に緊急事態宣言が解除されて以降、感染が落ち着き明るい兆しが見えてきましたが、年末より南アフリカで確認された新たな変異株「オミクロン株」が拡大し、まだまだ予断を許さない状況が続いています。

そのような中、我が国の景気は内閣府の月例経済報告によりますと、新型コロナウイルス感染症による厳しい状況が徐々に緩和されつつあるものの、引き続き持ち直しの動きに弱さがみられる。先行きについては、経済社会活動が正常化に向かう中で、各種政策の効果や海外経済の改善もあって、景気が持ち直していくことが期待される。としています。

我々の業界に目を向けてみますと、国内の情報・サービス産業は、リモートワーク環境の構築に向けた投資、DXの進展により案件数は増加傾向にあります。また、エンジニア不足の深刻化に伴い需給は逼迫しており、サービス単価は高い水準が続いていることから、市場は拡大傾向にあります。今後は、昨年10月に発足したデジタル庁を中心とした政府・官公庁のシステム投資活発化に加え、中長期的には企業によるDX関連投資の積極化等を

背景に、市場規模の拡大が継続するとされています。益々我々の業界に対する期待は大きなものとなっていくと推察いたします。

当協会の2021年度の事業を振り返ってみますと、前年度は縮小して行った定時総会を、大井川知事ご列席のもと盛大に開催することができました。しかし「得意技・先進技術交流会」や「視察事業」などは、感染拡大のタイミングもあり中止せざるを得ませんでした。その中でも「各種セミナー関連」は対面やオンラインでの開催ができました。特に対面での研修においては、事前抗体検査を取り入れるなど、安全・安心をより強化し開催することができました。このことは多くのスタッフの皆様のご協力のおかげであり、改めて感謝する次第です。

また昨年は茨城県からの要請もあり、新たに海外企業との連携事業について案内をさせて頂きました。今年も引き続き、産・官・学の連携を図りながら、出来る限り多くの事業を実施して参りたいと思います。

各社で世代交代が少しずつ進む状況の中、次世代の経営者・幹部が中心となり各委員会・小委員会が活発に活動し同業他社と情報交換していく事は、人材育成の場として重要と考えています。会員企業の皆様におかれましては、どうか積極的に委員会への参加をお願い致します。

何かと不便の多い今日ですが、この状況が一日も早く解消され、平穏な日々が取り戻せるよう心から願っております。結びになりますが、会員各社のご繁栄と皆様のご健康とご安全を祈念申し上げます、新年の挨拶とさせていただきます。



デジタル技術で明るい未来へ

茨城県産業戦略部長 **前田 了**



新年あけましておめでとうございます。

一般社団法人茨城県情報サービス産業協会の皆様には、すがすがしい新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

貴協会におかれましては、平素から情報サービス産業界の技術力強化・人材育成等に積極的に取り組まれ、設立以来25年の長きにわたり、本県産業の情報化の推進及び競争力強化に向けてご尽力されておりますことに、深く敬意を表する次第でございます。

昨年を振り返りますと、新型コロナウイルス感染症は依然として猛威を振るい、会員の皆様におかれましても、一昨年に続き厳しい1年であったことと存じます。ワクチン接種が進み、少しずつ日常を取り戻しつつありますが、新たな変異株が確認されるなど、今後の状況は不透明で予断を許さない状況にあります。

こうした中、県では、企業の厳しい経営環境を支援するため、コロナ禍以降、6,300億円を超える資金需要に対応するとともに、県内6か所の就職支援センターにおいては、利用者は2万9,000件を越え、1,300件を超える就職を実現するなど、きめ細かな支援に努めてまいりました。

さて、時代は今、コロナ禍の影響により人々の価値観や生活様式が大きく変化しており、企業においては、デジタル技術を活用し、生産性の向上や新たなビジネス創出に果敢に挑戦するとともに、デジタルトランスフォーメーション（DX）やカーボンニュートラルなど、時代の潮流に対応していくことがより一層求められてまいります。

そのため、県では、産業技術イノベーションセンターにおいて、経験豊富な専門家がIoTやAIを活用した新たなビジネスプランの構築を支援する取組を実施しているほか、5Gの体験スペースの整備により、高速・大容量通信によるロボットの遠隔操作など、最先端の技術に触れる機会を提供することで、企業においてデジタル技術の活用・導入を後押しできるよう取り組んでおります。

また、県立産業技術短期大学校（県立IT短大）においては、令和3年4月から、生産管理コースとセキュリティコースを新設し、需要予測や生産データの収集・分析、セキュリティ対策などの専門家の育成に努めているほか、高度なデータ分析技術を用いてビジネスの課題を解決できるデータサイエンティストなど、現場のニーズに即したデジタル人材の育成に取り組んでまいります。

県といたしましては、県民の皆さまをはじめ、貴協会など関係機関と協力しながら、「活力があり、県民が日本一幸せな県」の実現を目指し、取り組んでまいりますので、貴協会におかれましても、県内の情報サービス産業の牽引役として、より一層ご活躍いただきますとともに、県勢の発展のため、なお一層のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、貴協会の皆様のご健勝とご活躍を祈念申し上げ、新年のあいさつといたします。



各委員会より

● 事業推進委員会

委員長 松本 英俊



新年明けましておめでとうございます。

日頃より会員の皆様には、事業推進委員会の活動にご協力を賜りまして厚く御礼申し上げます。

昨年は、延期となっていた東京オリンピック・パラリンピックが無事開催され、また海外ではメジャーリーグにおいて大谷翔平が二刀流での大活躍を見せるなど、新型コロナウイルスの話題が続く中、日本に明るいニュースを届けてくれました。

未だ新型コロナウイルスとの闘いは続く様相で、いかにして感染対策をとりながら経済を回復していけるかが大きな課題となっています。

コロナ禍でDXが加速したように、以前よりもさらにIT技術への期待の高まりを感じます。社会に役立つ技術を作り出せるよう、我々もより一層頑張っていく所存です。

昨年の事業推進委員会活動をご報告いたします。

【水戸市様とのワークショップの開催】

水戸市職員とIBIS会員企業の社員が合同でグルー

プワークを含めた研修を行うことで、DXを推進する上で必要とされるデジタル人材の育成を目的に、ワークショップが開催されることになりました。コロナの影響により何度も開催の延期がありましたが、第1回目の開催を10月22日に水戸市役所職員14名、IBIS会員企業社員13名で対面形式で行うことができました。

今後、月1回の開催で、全5回行われる予定です。

最終の開催では、新しい市民サービスが創出できるよう期待したいと思います。

【会員企業・得意技紹介ページの開設】

2年連続中止となりました「第3回得意技・先進技術交流会」の代替として、IBISのホームページに会員各社の得意技を紹介するページを開設する事になりました。会員企業各社の得意技を一覧表示できるようにし、お客様や学生へのアピール、ならびに会員同士の交流を促す効果が期待できます。

今回は13社の会員企業様にエントリーいただきまして、本年3月に公開予定となっております。

今後により多くの会員企業様にご参加頂けるよう、魅力あるコンテンツづくりへ努力して参りますので、引き続きご協力を申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。

● 技術研究委員会

委員長 清水 哲雄



新年あけましておめでとうございます。日頃より会員の皆様には技術研究委員会の活動にご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

昨今、DX、5G、Cloud、AI、IoT、AR/VR、RPA、リモート、ローコード開発など、様々な技術やトレンドがIT業界をにぎわせ、今後も続くことが予想されます。そして、私たちの生活で「もっと便利に、早く、安く、楽しく、安全に」するためにICTの利用技術は必要不可欠のものとなっています。

技術研究委員会の活動に於いても、これらの先進技術やトレンド、課題を意識し、各種研修事業等の実施に取り組んでまいります。

まずは新年を迎えるにあたり、昨年の技術研究委員会の活動を以下の通りご報告申し上げます。

1. 先進技術セミナー

11月18日(木)、前年に続きオンライン開催で30接続60名を超える参加になりました。

第一部では、富士通株式会社 細江広治様をお招きし、「富士通のスパコンへの取り組みとスーパーコンピュータ『富岳』」をテーマにご講演頂きました。

第二部では、ボノ株式会社 谷津孝啓様をお招きし、「地域課題解決にむけた官民連携によるDX推進」をテーマにご講演頂きました。

第三部では、株式会社アサイ・エンジニアリング 浅井伸一様をお招きし、「IT×メカ=無限の可能性-未来につながるイノベーション-」をテーマにご講演頂きました。

バリエーションに飛んだ3つ興味深いテーマを提供出来たと思っております。

2. 国内視察研修会

新型コロナの影響により団体での企業視察を自粛し、余儀なく中止といたしました。

3. 海外視察研修会

新型コロナの影響により海外渡航自粛などで、余儀なく中止といたしました。

以上の通りご報告を申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。

● 総務広報委員会

委員長 小野瀬直人



新年明けましておめでとうございます。

日頃より皆様には、総務広報委員会活動にご協力賜り、厚く御礼を申し上げます。

新型コロナウイルスは収束するのかしないのか？

未だ新型コロナウイルスの脅威に怯えながらの生活が続きます。当委員会の活動は、対面形式が主のため、止む無く活動の中止や縮小といった運びになったものもあります。今年もオンラインや人数の分散といった工夫をし、活動を展開して参ります。

新年を迎えるにあたり、昨年の総務広報委員会の活動状況と今後の予定を下記の通りご報告いたします。

1. 会報発行

会報53号発行(2021年8月)、新年号54号発行(2022年1月)

2. 福利厚生事業 ポウリング大会

新型コロナウイルス感染拡大に伴い、止む無く中止とさせて頂きました。

3. フォローアップセミナー

2021年度は、多くの参加希望者を対応できるよう、また密にならないよう10月27日から29日の3日間開催としました。参加者は60名を超え、大盛況のうちに終わりました。

4. 総務広報委員会セミナー

9月17日にオンライン配信にて行いました。演題は「メンタルヘルスの対応と強い心を育てる方法」(株式会社 打つ手は無限 代表取締役社長 鈴木 稔氏) オンラインも含め参加者は20名を超え、大盛況のうちに終わりました。

5. IBIS 合同企業説明会

昨年と引き続き、学校単位での開催方法とし、4つの学校と連携しております。開催時期は新型コロナウイルスの関係で未定となっております。

6. IBIS 新人合同研修

2022年3月23日から26日の4日間を実施計画としております。今回は新型コロナウイルスを考慮し、日帰りの研修とさせて頂きます。

以上の通りご報告申し上げますと共に、引き続きご協力をお願い申し上げます、新年のご挨拶とさせていただきます。

● 会員増強委員会

委員長 小林 英雄



新年明けましておめでとうございます。

日頃より会員の皆様には、会員増強委員会の活動にご支援ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

多くの業界がコロナ禍で苦戦を強いられ、現在も未だ出口が見えない不安を抱えています。

そのような中、ニューノーマル時代に生きる私たちにとって、IT技術はなくてはならない存在です。ビジネスからレジャーまで、あらゆる行動を時勢に合わせてアップデートしていくために、必要不可欠な技術を持つのが、私たちIT業界です。今一番注目され、活躍の場を与えられ更に盛り上がる業界と心から信じております。

新しい事への挑戦や困難にぶつかる事もあると思いますが、当協会内での会員様同士の繋がりをより多くの場面に生かしていただき、お役立ていただけるよう、

組織の充実や会員増強を意識して委員会活動へ繋げて行きたいと思っております。

さて、コロナ禍での当委員会の活動については、例年通り訪問形式での面談が主となっております。現在、正会員83社、賛助会員4社、合計87社となっております。次年度は、オンライン形式での面談もご提案し、より多くの企業様とのお面談の機会を作れるよう計画致します。

また、当委員会では、会員増強と会員相互の親睦を図ることを目的として、年2回のゴルフ大会を計画しております。ゴルフ大会については、パーティーは実施せず。速やかな散会を心掛け運営しております。会員の皆様はもちろんのこと、入会を希望される企業様をお誘いの上多数のご参加をお願い申し上げます。

今後も会員皆様の役に立つ事業展開を行い、魅力ある協会活動に取り組んでまいりますので、引き続きご支援ご協力をお願い申し上げます、新年のご挨拶とさせていただきます。

● 会計委員会

委員長 古橋賢一郎



新年明けましておめでとうございます。会員の皆様には日頃からご協力を賜りまして誠に有難うございます。

昨年夏の新型コロナウイルス感染拡大から一転して収束状況で迎えた年末年始でありましたが、心身ともにリフレッシュすることができましたでしょうか。

現在も終息が見えない新型コロナウイルス感染症の脅威があるなかではございますが、我々の生活様式をはじめ、働き方や従来の価値観等も大きく変わり、すっかり「ニューノーマル」の時代に進んでいることを実感していることではないでしょうか。IBISとしても会員同士の情報交換や各事業を通じた地域活動で「ニューノーマル」を意識した事業を目指して行きます。

会計委員会として昨年12月までの活動状況は次の通りです。

(1) 協会収支の検査及び指導

事務局と共に2回（7月、10月）の財務状況の調査研究（来期収支予算含む）を実施

(2) 委員会別事業予算

委員会別の事業予算書のまとめ（2月）

(3) 四半期予算実績対比

四半期毎に委員会別に事業費の予算実績対比を実施（7月、10月）

今後は決算までに2回（1月、3月）の財務調査研究と決算の準備、並びに来年度の委員会別事業予算書を取り纏め、各委員長及び事務局と連携を深めながらIBISの更なる発展に寄与していきたいと思っております。

以上、新年のご挨拶とさせていただきます。



総務広報委員会

令和3年度

第10回

「フォローアップセミナー」開催

会場 JAグループ茨城教育センター

開催日 令和3年
10月27日(水)・28日(木)・29日(金)講師 カスヤ・マネジメント研究室
春谷 昇 講師

参加者 13社 64名



新型コロナウイルスの影響により開催が懸念されましたが、直前に緊急事態宣言も解除され、予定通りの日程で第10回フォローアップセミナーが開催されました。

講師には昨年同様に元気溢れる春谷講師を迎え、検温やアルコール消毒・研修当日の抗原検査実施など安全を担保した中で無事にセミナーを終えることが出来ました。本セミナーは若手社員としての日常活動を振り返り、今後のあり方を考えることを目的に開催しています。

入社後半が経過し、新入社員にとっては仕事や職場にも慣れてくる一方で次第に元気の良さが影を潜めていき、仕事に対して緊張感が薄れ本質を忘れがちになる時期とも重なります。今回のセミナーは初心を思い返し、仕事の意義や職場生活を再認識するのに良いタイミングだったのではないのでしょうか。

研修は元気な挨拶と共にスタートし、受講生は講師の講義に真剣に耳を傾けていました。最初は消極的な受講生も見受けられましたが、慣れてくるに連れてグループディスカッションでは積極的な意見交換・スピーチではハキハキとした元気な声量で語りかける姿を目にすることが出来て、改めてセミナーが無事に開催できて良かったと感じました。他にも発声練習や、コミュニケーションの重要性などを学ぶゲームが行われ、一人一人が基本行動の大切さを再確認する良い機会になったかと思っております。

セミナー後の閉講式では、相手から信用や信頼を得るために挨拶やマナーなど基本的な行動をしっかり実践する事を忘れないでほしい、研修で学んだ事を糧にして今出来る事に全力で取り組んでほしいという御講評の言葉をいただき受講生も真剣に耳を傾けていました。

受講生の皆さんには今回のセミナーで学んだ事や気付きを活かして、今後の更なる成長・飛躍を遂げる事を期待しています！

第1回 「水戸市とIBIS会員企業によるワークショップ」開催

開催日 令和3年10月22日(金)

参加 IBIS会員企業13名・水戸市職員15名

デジタルトランスフォーメーション(DX)の機運がこれまでになく高まっています。

しかし、多くの企業・自治体は「DX人材不足」のためにDXが遅々として進まないという声が多く聞かれます。このような背景から、今回、水戸市とデジタル人材の育成に向けた協定を締結し、さる10月22日、IBIS会員企業13名と水戸市職員15名による第1回ワークショップを開催いたしました。

開催目的として、水戸市側はデジタル技術を活用した住民サービスを施策として立案できる職員を育成することであり、本ワークショップにより、地域課題の本質と企業が持つデジタル技術の活用に向けた理解を深められることを掲げています。一方、IBIS会員企業としても、行政への理解と自らの企業が持つ技術のブラッシュアップの機会を得ることができ、



新たな価値の創出と既存事業の業務生産性向上、更には働き方の変革といった成果を見出すことが期待されます。

ワークショップは来年2月まで全5回を予定しており、DXの基本、デザイン思考等について学びながら、デジタル技術をツールとして活用した、市民目線の行政サービスについて考察を進めていく予定です。今回は、特に子育て、介護、高齢福祉といった福祉分野に着目し進めていきます。

IBIS会員企業と自治体との協業による新しい取組みとなりますが、双方の親交が深まり、新たなビジネスモデル創出の場となるよう取り組んで参りますので、引続き会員企業様にはご協力頂きますよう、よろしくお願いたします。

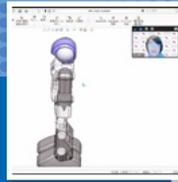
最後になりますが、今回のワークショップ開催にあたり講師を含めご協力頂いた富士通Japan様にも改めて御礼申し上げます。

令和3年度

先進技術セミナー

開催日 令和3年11月18日(木) 接続数 30接続

会場 オンライン開催



技術研究委員会



本年度の先進技術セミナーは三部構成とし、第一部では、富士通株式会社 チームディレクター 細江広治様をお招きし、「富士通のスパコンへの取り組みとスーパーコンピュータ「富岳」をテーマに、ベンチマークで4期連続4冠達成の富岳のハード、ソフトの機能を始め南海トラフ沖巨大地震シミュレーション、風洞実験シミュレーションの実例をご講演頂き参加者の皆様も熱心に拝聴されておりました。

第二部では、ボノ株式会社 取締役 谷津 孝啓様をお招きし、「地域課題解決にむけた官民連携によるDX推進」をテーマとして行政側から官民連携の扉を解放する先進事例として茨城県つくば市の「つくばイノベーションスイッチ」の事例などをご紹介頂きました。企業主導の事業開発から現場主導の循環型の事業開発への変化の必要性がこれからのビジネスのアイデアになるという大変参考となるご講演でした。

第三部では、株式会社アサイ・エンジニアリング 代表取締役 浅井 伸一様をお招きし、「IT×メカ=無限の可能性-未来につながるイノベーション-」をテーマとしてロボット開発の実例として「メイドAI」の開発を中心にご講演頂きました。メカは、仏像。そこにIT(魂)を入れると無限の可能性が広がる。自分の壁をぶち破ったら新しい技術を得ることが出来ると技術者として情熱的にご講演頂きました。参加者の技術者の皆様も大いに刺激を受けたご講演でした。

本年度は、会員向けセミナーとなりましたが、コロナ渦を考慮しオンラインでの開催となり、接続数：30接続、参加者延べ：60人を超える参加者となりました。

次年度以降も時期に即したテーマを選択し継続開催する予定です。ご期待ください。



総務広報委員会



「メンタルヘルスの対応 と強い心を育てる方法」

講師 株式会社 打つ手は無限 代表取締役社長 鈴木 稔氏

開催日 2021年9月17日(金) 14:30~17:00

開催方法 Zoomによるオンラインセミナー

参加者 20名

今年度の総務関連セミナーは昨年のアンケートで要望が多かったものとして、会員企業が重要課題として捉えている「メンタルヘルス」をテーマとして、企業においてメンタルヘルスで問題を抱える社員の取り扱いやケア対策をどうするか、また、メンタルヘルス防止としてストレスに打ち勝つ強い心を持つ社員にするためにはどうするかを学んでもらうことを目的として

2021年度 総務関連セミナー

株式会社打つ手は無限の代表取締役社長である鈴木稔氏を講師として迎えセミナーを開催しました。

当初はホテルレイクビュー水戸での会場開催を予定していましたが、新型コロナウイルスの感染者拡大に伴い、Zoomによるオンライン形式での開催となりました。オンラインでしたが、一方的に講義を聴くスタイルではなく、「ブレイクアウトルーム機能」を使用し、参加者をいくつかのグループに分け、時折グループディスカッションを織り交ぜる内容で進められました。受講者は鈴木講師の講話に真剣に耳を傾け、グループディスカッションにおいては積極的に意見交換を行い、密度の濃い有意義な内容となりました。2時間半の開催時間もあっという間に過ぎ、盛況のうちにセミナーは終了しました。

会員の皆様におかれましては今回のセミナー内容を参考に社内でのメンタルヘルス対応に役立てていただければ幸いです。



会員増強委員会

第33回

IBIS会員親睦ゴルフ大会

開催日 2021年11月25日(木)

場所 宍戸ヒルズカントリークラブ

第33回IBIS会員親睦ゴルフ大会が23名の参加者により盛大に行われました。会員の皆様の日頃の行ないが良いお陰で、当日は、無風で雲ひとつ無く、とても気持ちの良い晴天の日を迎えました。朝は少し肌寒かったものの、徐々に気温が上がり、ゴルフ大会にふさわしい絶好のコンディションとなりました。参加された皆さんは個人個人が自分の「優勝」を心に誓い、勢い良くスタートを切っていたと思います。

とにかく真剣にプレーをする組、一日中賑やかな組、企業の垣根を超え和やかに親睦を深める組と、楽しむカラーも様々でした。感染症予防対策のため、今回のコンペではパーティーは開催していません。順位表および景品を配布し、速やかに散会する事に致しました。開催形式は例年と異なりましたが、状況を配慮した計画について、多くの皆様にご賛同頂き、盛況のうちにゴルフ大会は終了しました。毎年新たな会員が加入されますが、このゴルフコンペを通じて会員同士の親睦を深め会員増強を図り、IBISの益々の発展に繋げていきたいと思っております。



県立 IT 短大 Ibaraki Prefectural Junior College of Industrial Technology

本校は、高度かつ実践的な「**職業人としてのIT技術者**」を育成する県立の短期大学校です。

【事業主推薦による人材育成を行います！】

IT技術者を雇用する事業主による多様な形の入学者推薦に対応します。お問い合わせやご相談をお待ちしております。

特色 1

国家試験の高い合格実績

基本情報技術者試験に多くの学生が合格しています。(資格取得者数全国短大トップクラス)

特色 2

社会人基礎力の育成

コミュニケーション能力やプレゼンテーション能力をはじめ社会人基礎力の向上を重視しています。

特色 3

企業との連携

茨城職業能力開発推進協議会と連携し、産業界と一体となった人材の育成に取り組んでいます。

問合せ先

茨城県立産業技術短期大学校 〒311-1131 水戸市下大野町 6342
メール: kyoumu@ibaraki-it.ac.jp

☎ 029-269-5500

http://www.ibaraki-it.ac.jp



新入会員の紹介

株式会社ネクシモ

代表者	代表取締役 山形 勝
設立	2006年11月1日
資本金	600万円
社員数	36名
事業内容	・システム開発および運用、保守 ・サーバーおよびネットワークの設計、構築、保守 ・アプリケーション開発・ホームページ制作
所在地	〒319-1221 日立市大みか町4-27-32 TEL 0294-27-1881

この度は、茨城県情報サービス産業協会に入会させていただき、誠にありがとうございます。

弊社は「お客様の近くで仕事を」をモットーに、主にWeb系システムの開発、サーバーの構築およびネットワーク設計を展開しております。また、自社製品開発にも力を入れており、自社製品CMSを使ったホームページの制作も手掛けております。

入会にあたり、微力ながら本会の発展のお力になればと思っておりますので、皆様からのご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

株式会社ドットネクスト

代表者	平塚 松次郎
設立	2011年2月2日
資本金	800万円
社員数	13名
事業内容	・業務システム開発 ・ネットワーク/サーバ設計・構築・運用 ・Webサイト制作 ・システムコンサルティング
所在地	【本社】 〒302-0105 茨城県守谷市薬師台3-9-7 【水戸事務所】 〒310-0842 茨城県水戸市けやき台3-28-5-205 TEL : 029-353-8567 FAX : 029-353-8568

この度は、茨城県情報サービス産業協会に入会させて頂き誠にありがとうございます。

弊社では「システム開発」「システム運用」の2つを主軸として業務を展開しております。設立してようやく10年が経過し、今後より一層活動の場を広げたいと思っています。

今回の入会を機に多くの会社の皆様と交流の機会を持てれば幸いです。まだまだ小さな会社でございますので、会員の皆様からのご指導ご鞭撻を賜りますよう、どうぞよろしくお願い致します。

技術を身に付けた人材を採用したい！

求職中の方を対象に、半年間で情報分野の技能を身につける職業訓練を実施しています。採用のご予定がありましたら、ぜひ、ポリテクセンター茨城の受講者・修了者をご検討ください。

生産情報プログラミング科

ICTエンジニア科

(企業実習付)



スマート情報システム科

訓練受講者・修了者の自己PR【求職者情報】はポリテクセンター茨城ホームページに随時掲載しています

技術を短期で身につけたい！

主に在職中の方を対象に、2～4日間で専門的な技能を身につける【能力開発セミナー】を実施しています。

コースNo	コース名	日程(令和4年)	受講料
E092	メカトロニクス装置(簡易自走ロボット)の設計製作	3/15(火)・16(水) 17(木)	26,000円
E1081	組込みシステム開発におけるプログラミング実践(Python編)	4/16(土)・17(日) 23(土)	19,000円
E1251	Webを活用した生産支援システム構築技術(コンテナ環境構築編)	5/26(木)・27(金)	9,500円

【時間】9:15～16:00 【会場】ポリテクセンター茨城(常総市)

日程が
合わない

内容を
変えたい

社内で
やりたい

オーダーメイドセミナーで
承ります。まずはお電話を

厚生労働省所管 独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構茨城支部

ポリテクセンター茨城

常総市水海道高野町591(常総警察署隣) 平日8:45～17:00

TEL 0297-22-8845

ポリテク茨城

検索



異 動 情 報

2022年 1月 1日現在

Change information

入会 正会員

- 株式会社ネクシモ 代表取締役 山形 勝 2021年 9月 1日
- 株式会社ドットネクスト水戸事務所 取締役 鯨岡 慎一 2021年 12月 1日

住所変更

- 株式会社デンサン 茨城県土浦市港町二丁目2番10号 2021年 8月 2日
- 株式会社ケルタ 茨城県水戸市南町三丁目4番10号水戸FFセンタービル1101号 2021年 9月 1日
- 株式会社 I - R I S 茨城県ひたちなか市西大島 1 - 9 - 45 MD siteビル3階 2021年 9月 6日

 **名鉄観光** 一日も早いコロナ禍の終息と、会員企業の皆様のご健康をお祈り申し上げます



日頃の感謝をこめて
貰って嬉しい商品券

商品券の「JCBギフトカード」は、名鉄観光サービス店舗でご購入が出来ます。

有効期限がないからいつでも全国100万店以上のJCBギフトカード取扱店をご利用いただけます。身近で使える便利な商品券「JCBギフト」



1,000円
5,000円

100万店以上の
取扱店で
ご利用可能

有効期限
なし

京成百貨店、イオン、ケーズデンキ、ニトリ、ジョイフル山新、カインズホームなどで使えます♪

オンライン社員旅行・オンラインチームビルディング取扱中

家族旅行、グループ旅行お問い合わせください。

お問合せ

各種ギフト券類取扱い中【JCBギフトカード・グルメカード・QUOカード・カタログギフト】



名鉄観光サービス(株)水戸支店

住 所：水戸市泉町2-2-33
担 当：結城武文

電 話：029-221-4528
メー ル：mito@mwt.co.jp



水戸駅南口より徒歩3分
婚礼・宴会・宿泊・会議等
お客様のニーズにお応えします

Instagram



Twitter



Facebook



YouTube



公式HP



ホテルレイクビュー水戸

 HOTEL LAKE VIEW MITO

〒310-0015 茨城県水戸市宮町 1-6-1

●JR 水戸駅（南口）下車徒歩3分 ●駐車場 240台

お問い合わせ・ご予約 029-224-2727

編 集
後 記

新型コロナウイルスのワクチン接種を終えて安定していると思えたコロナ感染も新たに感染率の高いオミクロン株が拡大してきました。今年もコロナ禍の影響で不透明で予断を許さない状況が続きそうです。会員一同で努力して克服していきましょう。